

住友ゴム工業株式会社加古川工場

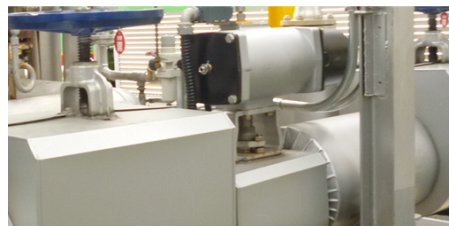
環境保全対策実施報告書

令和2年度(令和2年4月～令和3年3月)に実施しました環境保全対策及び令和3年度(令和3年4月～令和4年3月)の環境保全活動計画は次の通りです。

1. 環境保全対策実施状況(令和2年度)



(1) 大気汚染に係る対策

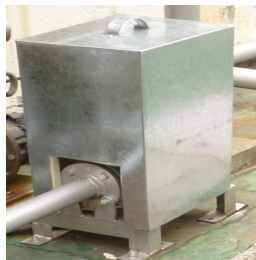
推進の内容	実施の成果
①ボイラーの最適運転により大気汚染防止に取り組む ア:ボイラーの定期整備 イ:排ガスの定期測定 ウ:オンライン24時間監視システム エ:メンテナンス契約(メーカ点検・整備等)	・ボイラーメーカとの24時間監視システムによる運転管理と定期的なメーカ定期整備によりボイラーの適正な運転ができました。
★②省エネ改善活動の推進 ア:省エネ委員会の活動 イ:蒸気, 圧, 熱の漏れ箇所調査、修理 ウ:生産性向上活動 エ:生産設備稼働状況に合わせた蒸気供給システムの切り替えによる、ボイラーの効率運転化 オ:工場内照明のLED化推進 カ:空調機更新 旧冷媒使用スポットクーラー10台更新 キ:省エネタイプ変圧器(トランス)導入 ク:IOT技術を使った蒸気使用量見える化	・令和2年度は生産量増加および省エネ対策の結果、エネルギー原単位は対前年比3.01%良化させることが出来ました。 令和3年度も継続して省エネ活動を行っています。しかし年初の新設設備の立ち上げにて一部の工程で生産開始日が前年より遅かった為、エネルギー原単位は現在対前年比で2.0%の悪化となっており、改善に努めています。 *エネルギー原単位:単位生産量当りのエネルギー使用量 エ:短時間に大量の蒸気を必要とする大型加硫缶の稼働タイミングにあわせ、供給する蒸気の配管システムを蒸気アキュムレータ単独システムに自動で切り替えるシステムを構築し、アキュムレータの能力を最大限有効利用する事でボイラーの運転圧力を下げ、運転効率を1%向上させました。(令和2年10月実施)



	<p>オ：水銀灯と蛍光灯をLED照明へ更新 水銀灯 62 灯 蛍光灯 80 灯→LED化を行いました。</p> <p>カ：空調機を省エネ機種へ5台更新、 旧冷媒仕様のスポットクーラーを代替フロン機種へ10台更新を行いました。</p> <p>キ：省エネタイプ変圧器（アモルファス磁石内臓5台）の導入により電力を5,898kWh/年削減しました。</p> <p>ク：既設流量計を活用した自動検針を行い蒸気流量の見える化を進めました。</p>
--	--

(2) 騒音・振動に係る対策

推進の内容	実施の成果
<p>①騒音発生源対策及び保安員による工場周辺パトロールの継続</p> <p>②騒音削減対策</p> <p>ア：ボイラー水処理RO装置防音カバー設置 RO装置の上部に防音カバーを設置しました。運転音が住宅側に広がらないように改善を図りました。</p> <p>イ：給水タンクオーバーフロー管防音シート設置 ボイラー給水タンクオーバーフロー管に防音シート設置して排気音の低減を図りました。</p> <p>ウ：ポンプ防音工事 ポンプの防音カバー劣化箇所を更新を実施しました。</p> <p>エ：真空ポンプ更新(容量変更) 現状の設備仕様に合わせた容量に見直し、小型化(1.5→0.75kW)しました。</p>	<p>・工場敷地境界における騒音は、規制値内にあります。 (騒音測定地点は、添付資料参照下さい)</p> <p>ア：防音カバー設置状況</p>  <p>イ：給水タンクオーバーフロー配管防音シート設置状況</p> 

	<p>ウ：ポンプ防音カバー更新状況</p> 
--	--




(3) 悪臭に係る対策

推進の内容	実施の成果
<p>①定期測定時にパトロールを実施し、日常の管理を強化。又、発生源対策として、溶剤系材料の使用量削減に取り組む。</p>	<p>・工場敷地境界における悪臭等は、規制値内にあります。</p>

(4) 産業廃棄物に係る対策

推進の内容	実施の成果
<p>①廃棄物の分別およびリサイクルの推進</p>	<p>・廃棄物の徹底した分別と製品の仕損を削減し、ゼロミッションを継続しています。</p>
<p>②化学物質(PCB)対策</p>	<p>・低濃度 PCB 処理は対応済み 高濃度 PCB は令和 2 年 4 月 23 日に JESCO 指定業者へ引き渡し、搬出完了。</p>

(5) 緑化に係る対策

推進の内容	実施の成果
<p>①工場敷地内の緑地の維持管理 ②近隣企業、小野市への株分け</p>	<p>・絶滅危惧種の育成管理でツバカマの加古川河川敷、加古川大堰付近への移植活動を行い、緑化環境の維持向上が図れた。</p>  <p>また、近隣企業への株分けや小野市ひまわりの丘公園にも株分けを行った。</p>  

(6) 地域連絡会

推進の内容	実施の成果
①地域との交流	<ul style="list-style-type: none">・令和2年11/2～11/13、西神戸高等特別支援学校より(2年生)1名を受け入れ、就職に向けた体験実習を行いました。・令和2年12/7～12/11にインターシップ実習受け入れ(飾磨工業:1名)を行いました。・例年実施している「トライやるウィーク」、工業団地「ホーリング大会」はコロナ禍で中止になりました。

(7) その他

推進の内容	実施の成果
① ISO14001 の維持	・10月更新審査完了、今後も継続的に環境改善に取り組んで参ります。
② 内部監査	・内部監査員スキルアップ研修実施。

2. 協定値と実績値の比較

(1) 大気関係

(実績値：最大値または年間総排出量)

項 目		協 定 値	実 績 値
窒素酸化物排出量	(Nm ³ /時)	0.7	0.3
	(t/年)	8.6	3.1

3. 環境保全活動

(1) 令和3年度基本方針

項目	内容
基本方針	<p>「環境に優しい企業活動で、地球の未来を守ります」</p> <p>近年、環境問題は従来の地域社会的な問題から、地球規模という空間的な広がり、将来の世代にもわたる時間的な広がりを持つ問題となってきました。地球環境の保全は国際社会が共同で取り組むべき人類の課題であり、持続可能で環境負荷の少ない経済社会を構築していくことが重要であるとの認識のもとに住友ゴム工業株式会社ハイブリッド事業本部加古川工場は、社会に信頼される企業の基本的な責務として、全ての事業活動と企業市民としての生活を通して、総合的、創造的に地球環境の保全に取り組めます。</p> <p>～住友ゴム工業株式会社ハイブリッド事業本部環境方針抜粋～</p>
組織体制	<pre> graph TD Management[経営者] --- Eco[環境管理 (ECO) 委員] Eco --- EcoCommittee[課 ECO 委員会] Eco --- EnergyCommittee[省エネルギー委員会] Management --- HR[総務・人事課] Management --- Purchasing[経理・購買課] Management --- Mfg1[製造一課] Management --- Mfg2[製造二課] Management --- Production[生産課] Management --- Works[工務課] Management --- Quality[品質管理課] </pre> <p>・ハイブリッド事業本部長 ・加古川工場長</p>

(2) 令和3年度環境保全活動計画

環境保全活動	目標	目標達成の為の計画、方策
化学物質対策	・化学物質の維持管理による使用量削減	① 化学物質の維持管理強化による使用量削減を行います。
エネルギー対策 (地球温暖化防止対策)	・法令及び協定の順守 ・エネルギー原単位対前年3%削減	①製造工程の生産性を向上させることにより、電力・蒸気原単位の改善に努めます。 ②工場設備で発生する高温の蒸気ドレンを回収し空調設備の熱源として再利用することで省エネを図ります。 ③保温強化及びバルブ・トラップ・配管等の漏れ点検を強化し、迅速に修理を行います。 ④老朽化した空調機を高効率空調機に更新し、消費電力を削減します。
廃棄物対策	・法令の順守 ・廃棄物発生率(有価除く)対前年2.0%削減	① 製品の仕損を減少させて廃棄物発生量の削減に努め、引続きゼロエミッションを継続します。
騒音防止対策	・法令及び協定の順守	① 騒音発生源対策及び保安員による工場周辺パトロールを継続します。
緑化対策	・緑地の維持管理	① どんぐりプロジェクトの推進。 ② 生物多様性保全活動拡大として「フジバカマ」「ナガボテンツキ」「ナガボノルモウ」等の絶滅危惧種となっている植物育成を継続実施します。
悪臭対策	・法令及び協定の順守	① 環境測定時のデータを基に日常管理強化に努めます。また、発生源対策として、溶剤の使用量削減と水系化の転換を進めます。
土壌汚染対策	・法令及び協定の順守	① 浄化処理を継続します。又、当該区域の定期測定を行い、モニタリングを継続します。
環境マネジメントシステム	・環境マネジメントシステムの運用と推進	① ISO14001 環境マネジメントシステムの運用により、環境面での継続的改善を図っていきます。
地域社会への参画	・地域社会との相互理解強化と環境保全活動への参画	① 例年通り「トライやるウィーク」他による中高校生の受入れ実施。 ② 事業所周辺の清掃活動。

<p>周辺環境に影響を与えるおそれのある事故等発生時の地元への広報等</p>	<p>・事故等の事態に係る情報を広く市民に周知する。</p>	<p>① 関係官庁へ迅速な報告を実施すると共に、加古川市のホームページ、防災メール、ツイッター等を通じ広く情報発信を行います。</p>
--	--------------------------------	---

添付資料： 工場配置図及び騒音測定場所

